



令和4年



月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

塗りつぶしの日 は 休館です。

### 『昔話の扉をひらこう』

小澤俊夫/暮らしの手帖社/388 オサ

昔話は、あたたかい目で人生の本質を語り、「大丈夫だよ」と励ましてくれる。国際的な昔話研究者・小澤俊夫が、その豊かな世界を案内する。日本の昔話 14 話、グリム童話 3 話も収録。巻末に 2 人の息子と語る親子鼎談付き。

昔話に秘められた大切なことを紐解く一冊です。



### 『読書とは何か』

三中信宏/河出書房新社/019.1 ミナ

自分で読んだ本をあなたは本当に「読んだ」といえるだろうか。その本のいったい“何”を読んだのか。本から得た知識をどう解体し、みずからの血肉にとりこんでゆくのか、読書経験を通しものごとを考えぬく方法について解説する。



### 『モチベーションの心理学』

鹿毛雅治/中央公論新社/141.7 カケ

モチベーションはどのように生じ、何に影響を受け、変化していくのか。ほめれば本当にやる気が出るのか。目標説、自信説、成長説、環境説など、モチベーションの心理学の代表的理論を整理、紹介する。

### 『折れない心をつくるいい言葉』

斎藤茂太/さくら舎/159.8 サイ

「いい言葉」の力で、前向きに、元気になろう！ フランツ・カフカ「恐れをもつことは不幸だ」、魯迅「天才なんかあるものか」…。心に火が点く名言に、心の名医・モタさんのワンポイントアドバイスを併載する。

### 『鎌倉殿を歩く』

伊東潤/歴史探訪社/210.4 イト

源頼朝の死後、わずか 18 歳で第 2 代将軍となった頼家を補佐した 13 人の鎌倉幕府有力御家人たち。鎌倉の四季折々を捉えた美しい写真とともに、彼らの人生と人間性に迫る。『神奈川新聞』連載を書籍化。

### 『津田梅子』

橋本俊昭/平凡社/289.1 ツタ

7 歳で日本初の女子留学生として渡米し、生涯、女子高等教育の発展に尽力した津田梅子。良妻賢母が当たり前だった時代に、高学歴女子はどのような人生の選択を迫られたのか。現代女性の生き方と照らし合わせながら論じる。

### 『ふしぎな日本人』

塚谷泰生/筑摩書房/361.4 ツカ

日本の集団主義は、世界にもまれな高度労働集約で行われる稲作にこそ起源がある。ヨーロッパでビジネスを展開してきた塚谷泰生と、日本人を知り尽くすピーター・バラカンが、日本文化の面白さや特殊性を縦横無尽に語り尽くす。

### 『知られざる水の化学』

齋藤勝裕/技術評論社/435.4 サイ

地球の水はどのようにして生まれたのか。水は人体にどのように役立っているのか。身近で特殊な物質である水の正体を化学の力で解き明かす。基礎知識がなくても楽しめる「液体の化学」のテキスト。

### 『地球の中身』

廣瀬敬/講談社/450 ヒロ

地下にはどんな世界が広がっているのか？ 半径 6400km の球体を徹底解剖。地震波観測から明らかになった構造と運動、室内実験で特定されたマントル深部の鉱物など、最新の研究から見てきた地球像を描写する。

### 『虫を観る、虫を描く』

川島逸郎/グラフィック社/486 カワ

わずか数ミリの虫たちを顕微鏡でのぞきながら精緻に描く。国内外の研究を支え続けてきた稀代の標本画家が、作品を生み出すにあたっての作業や思考、「手作業」の感覚ひとつで描くことの楽しさなどを語る初の作品集。

### 『鉄の日本史』

松井和幸/筑摩書房/564 マツ

大陸から伝わった鉄文化は、日本列島でたたら製鉄という他の地域で類を見ない独自の進化を遂げた。列島の技術と自然が織りなす古代から近代までの二千年の発展過程を、日本刀など代表的な鉄製品とともに辿る。

### 『ミシンスタート BOOK』

日本ヴォーグ社/593.4 ニホ

ミシンの使い方をプロセス写真で解説し、型紙や布の裁断、印つけといったソーイングの基本をわかりやすく説明。ボタン、ファスナーなどの副資材や、クッションカバー、トートバッグ、スカート等の作り方も紹介。

### 『多肉植物図鑑』

小林浩(監修)/NHK 出版/627.7 コハ

「多肉植物」と総称される植物の原種や園芸品種などを掲載する図鑑。170 ほどの属を取り上げ、そこに含まれる約 1620 種類の個性的な植物を、美しい写真とシンプルな解説で紹介する。

### 『さばの缶づめ、宇宙へいく』

小坂康之/イースト・プレス/667.9 コサ 青少年

宇宙食さば缶の開発はどのように始まり、幾多の困難を乗り越え、JAXA の正式認証を勝ち得て、宇宙に飛ばすことができたのか。福井県立若狭高校の生徒と、彼らの頑張りに引っ張られた大人たちが織り成したドラマを描く。



### 『純喫茶コレクション』

難波里奈/河出書房新社/673.9 ナン

キラキラと輝くクリームソーダ、ふわふわのホットケーキ、自家焙煎の珈琲、ゴージャスなシャンデリア、マスターとの楽しいおしゃべり…。東京喫茶店研究所二代目所長が厳選した喫茶店 81 軒を紹介する。

### 『図説ダイヤモンドの文化史』

マーシャ・ポイントン/原書房/755.3 ホイ

古来より「叡智と不変性」のシンボルだったダイヤモンド。ダイヤモンド産業の血塗られた歴史から、芸術や宗教、哲学における象徴としてのダイヤモンドまで、美術史家ならではの視点を加えながら豊富な図版とともに明らかにする。

### 『心と体に効くお香のある生活』

椎名まさえ(監修)/日東書院本社/792 シイ

お香にはさまざまな驚きの効果があり、気分が冴えないときや、体が疲れやすいなと感じているときに、心と体に力を与えてくれる。神秘的な効能から日常的な癒しまで、お香の楽しみ方のエッセンスを紹介する。

### 『論文の教室』

戸田山和久/NHK 出版/816.5 トウ

作文のヘタな大学新入生が、ダメ論文を「A プラス論文」へ改善するまでのストーリーを追いながら、論理的な文章を書くためのノウハウを伝授。アウトラインの作り方、主張の説得力を高めるためのコツなどを明快に説く。

### 『モーツァルトを聴く人』

谷川俊太郎/小学館/911.56 タニ 文庫

谷川俊太郎の名詩集「モーツァルトを聴く人」全篇と、モーツァルトと音楽をめぐる選詩集「音楽ふたたび」を収録。未刊行の、堀内誠一との共作絵本「ピアノの好きな王さま」もオールカラーで掲載する。

### 『幸田文 老いの身じたく』

幸田文/平凡社/914.6 コウ

老後の楽しみを見つけ方、年寄りのいる風景、祖母としての幸福、夫婦で老いるということ…。厳しくもあたたかな幸田文の視線は、自他の老いにも向けられていた。芯の通った老い方を学ぶ随筆集。

### 『森から来た少年』

ハーラン・コーベン/小学館/933 コハ 文庫

忽然と姿を消した高校生ナオミの行方を捜してほしい。孫から相談を受けた豪腕弁護士ヘスターは、幼い頃に独り森で育った過去を持つ、謎多き天才調査員ワイルドに協力を仰ぐ。ふたりはやがて、巨大な闇へと辿り着き…。

### 『オン・ザ・プラネット』

島口大樹/講談社/F シマ

同じ車に乗り込んだばかり 4 人は、映画を撮るために鳥取砂丘を目指す。記憶すること、思い出すこと、未来に向かって過去をみつね直すこと。現実と虚構の別を越えて、新しい世界と出会う旅。『群像』掲載を単行本化。

### 『アクトレス』

菅田哲也/光文社/F ホン

「ドミナン事件」から 5 年。希莉の書いた小説が、若手人気女優の名義で発表されるや、作中の事件をなぞるように「事件」が発生してしまう。誰が何のために模倣したのか。真相に近づこうとしたとき、再び悲劇が…。



図書館のホームページで蔵書検索や本の予約ができます。また、登録された方にはメールで新着本をお知らせする「新着案内メール」を配信しています。

◆◆ホームページアドレス◆◆ <https://www.library.otsu.shiga.jp>



## 行事予定は裏面へ

